

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

6年生が行った全国学力・学習状況調査の結果について、本校の傾向をお知らせいたします。

【国語】

全体的には、千葉県平均、全国平均とほぼ同様の解答傾向でした。

課題が見られたのは「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域でした。漢字や敬語等の知識や、主語と述語の対応を確かめたり、話し言葉と書き言葉など媒体に合わせた言葉を選択したりすることについて課題が見られました。また、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する必要がある問題について、無解答率が高い傾向が見られました。

今後は、言葉や文章などについて意識を高められるよう、国語に限らずどの教科においても言葉で表現したり伝え合ったりする活動を重視するとともに、自分の考えが伝わるように書き表す力や文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力を高められるようにしたいと考えます。

【算数】

全体的には、千葉県平均、全国平均とほぼ同様の解答傾向でした。

課題が見られたのは「数と計算」の領域で、小数の計算や、ある場面について数量関係を数式に表したり、求め方を言葉で説明したりすることが難しかったようです。また、どの設問においても無解答率がやや高い傾向が見られました。

今後は、知識・技術を高め、自分の考えを式や言葉で説明する活動を重視するとともに、難しいと感じても課題や問題にチャレンジする経験を大切にしたいと考えます。

【質問紙調査】

「規範意識」のスコアが高く、その他の項目については平均的ですが、算数への関心の高さに比べ、国語への関心がやや低い傾向が見られました。

生活習慣やきまりを大切にすることを維持しつつ、それぞれの教育活動を通じて学習への関心や自己有用感を高めていきたいと考えます。